【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公開番号】特開2007-230729(P2007-230729A)
【公開日】平成19年9月13日(2007.9.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-035
【出願番号】特願2006-54998(P2006-54998)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　7/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　7/02
Ｇ０３Ｇ　15/00　５２６

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月27日(2009.2.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
用紙を搬送経路に沿って搬送する電子写真装置の用紙搬送装置において、
前記搬送経路に設けられ、用紙が通過するローラ対と、
前記ローラ対の上流側に設けられ、前記搬送経路内の位置と前記搬送経路外の位置とに移動可能で、前記搬送経路内の位置に移動して前記搬送経路の用紙の有無を検出する用紙検知手段と、
用紙の紙詰まりにより搬送動作が停止した後に、前記用紙検知手段を前記搬送経路内に移動させ、前記用紙検知手段が用紙を検知していない場合に、前記ローラ対へ用紙が巻き付いたと判断する制御手段とを有することを特徴とする電子写真装置の用紙搬送装置。
【請求項２】
前記制御手段は、前記用紙検知手段が用紙を検知した場合、ユーザによる紙詰まり処理のために前記用紙検知手段を前記搬送径路外に移動させることを特徴とする請求項１記載の用紙搬送装置。
【請求項３】
前記制御手段は、前記電子写真装置の電源が投入されたことに応じて、前記用紙検知手段を前記搬送径路内に移動させ、前記用紙検知手段に用紙の有無を検知させることを特徴とする請求項１記載の用紙搬送装置。
【請求項４】
前記ローラ対は、用紙に転写された未定着トナーを用紙に熱定着させる定着ローラ対であることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の用紙搬送装置。
【請求項５】
前記ローラ対は、トナーを用紙に転送する感光体ドラムと転写ローラの対であることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の用紙搬送装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００８】
上記目的を達成するために、請求項１記載の電子写真装置の用紙搬送装置は、用紙を搬送経路に沿って搬送する電子写真装置の用紙搬送装置において、前記搬送経路に設けられ、用紙が通過するローラ対と、前記ローラ対の上流側に設けられ、前記搬送経路内の位置と前記搬送経路外の位置とに移動可能で、前記搬送経路内の位置に移動して前記搬送経路の用紙の有無を検出する用紙検知手段と、用紙の紙詰まりにより搬送動作が停止した後に、前記用紙検知手段を前記搬送経路内に移動させ、前記用紙検知手段が用紙を検知していない場合に、前記ローラ対へ用紙が巻き付いたと判断する制御手段とを有することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明によれば、搬送経路上に設けられる用紙の紙詰まり検知用のセンサを不要とすることができ、その結果、用紙を安定的に搬送すると共に紙詰まりを防止することができるのに加えて、センサ故障や寿命への影響も防止することができる。